

令和5年2月22日

太田市議会議長 岩崎 喜久雄 様

総務企画委員会委員長 渡辺 謙一郎

総務企画委員会視察報告書

- 1 期 日 令和4年10月26日（水）から  
10月28日（金）までの3日間
- 2 視 察 地 滋賀県甲賀市、大阪府大東市、兵庫県伊丹市
- 3 視察事項 (1)滋賀県甲賀市議会  
・甲賀市消防団組織再編計画について  
(2)大阪府大東市議会  
・公共施設等総合管理計画における公民連携の取り組みについて  
(3)兵庫県伊丹市議会  
・防災チャットボットの導入について
- 4 派遣委員 8名  
渡辺 謙一郎委員長 松川 翼副委員長  
長 ただすけ委員 神谷 大輔委員 水野 正己委員  
久保田 俊委員 岩崎 喜久雄委員 町田 正行委員
- 5 執 行 者 4名  
消防本部 次長 竹井 富雄  
消防総務課 課長 田部井 伸夫  
行革推進課 課長 岡田 和浩  
主任 池田 征司
- 6 随 行 者 議会総務課 主任 高橋 洋平
- 7 視察概要 別添のとおり

## (1) 滋賀県甲賀市議会 視察概要

### 甲賀市の概要 (令和4年5月1日現在)

- ・面積 481.62 k m<sup>2</sup> ・人口 89,220 人 ・世帯数 36,933 世帯
- ・市制施行 平成16年10月1日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和4年度: 413 億円  
令和3年度: 396 億 6,000 万円
- ・議員定数 24 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 240,000 円

### 視察事項

#### 「甲賀市消防団組織再編計画について」

##### ・目的

消防団は、消火活動のみならず地震や風水害等、多数の動員を必要とする大規模災害時の救助・救出活動、避難誘導、災害防御活動など、非常に重要な役割を果たしている。さらに、平常時においても住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上や地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしている。しかしながら、近年の少子高齢化や被雇用団員の増加、勤務形態の多様化といった社会情勢の変化により団員の確保が難しくなるなど、消防団の置かれている環境は大きく変化している。こうしたことから、今後予想される変化に対応できる組織体制作りの基礎とし、消防団が地域住民の負託に応え地域防災力の向上と安全・安心の街づくりに寄与することを目的として作成された『甲賀市消防団組織再編計画』を参考とするため、視察研修を行うものである。

##### ・所感

甲賀市消防団組織再編計画は、消防団員の減少を理由に単に組織の統廃合を目的としているものではなく、統廃合に必要な不可欠な地域との合意形成を得ながらの再編を目指したものであった。甲賀市は山間部が多く過疎化が顕著であるといった地域性もあり、組織再編は難しいものであると感じたが、消防本部や消防署から離れた地域においても消防団の機能を発揮させるために火災発生時のみ活動する団員OBによる機能別消防団員を運用しており、本市においても消防団の機能強化のために有効な施策が展開されていると感じた。また、行政が消防団員との意見交換

会を開催し若手団員の意見を聞くなど、団員同士のみならず行政との良好な関係が形成されているようであった。本市では機構改革により消防団課を消防総務課に統合し、係としての位置付けとした経緯があるが、行政が消防団とより強固な関係性を築けるよう、組織の見直しが必要ではないかとの意見があった。

## (2) 大阪府大東市議会 視察概要

### 大東市の概要 (令和4年3月末日現在)

- ・面積 18.27 k m<sup>2</sup> ・人口 117,891 人 ・世帯数 57,417 世帯
- ・市制施行 昭和31年4月1日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和4年度 : 498 億 9,435 万 6,000 円  
令和3年度 : 497 億 6,288 万 9,000 円
- ・議員定数 17 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 960,000 円

### 視察事項

「公共施設等総合管理計画における公民連携の取り組みについて」

#### ・目的

今後、インフラ施設の更新費用などが増す一方で、人口減少、高齢化、働く世代の減少等の社会的要因により、自治体の財政状況は一層厳しくなることが予想される。将来にわたって暮らしやすく、魅力あるまちづくりを進めるためには、公的負担の抑制、市民サービスの水準向上が必要であるため、大東市では国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において基本方針を定め、当該方針に沿って「大東市公民連携事業指針」、「大東市公民連携基本計画」を策定し、都市が抱える経営課題やめざすべき方向性、手法等を示すとともに、『自分でつくったまちに住む』を開発理念とし、新たな手法として公民連携を取り入れたリードプロジェクトを推進している。本市においても『施設総量の抑制』と『施設の長寿命化』によるインフラ施設の更新費用縮減を基本方針とする「太田市公共施設等総合管理計画」を策定し、将来の公共施設のあり方について定期的な見直しが行われているが、大東市では、この公民連携の裾野を広げていくために民間提案を受け付ける体制を整え、事業化に向けた手続を明確化した

「大東市公民連携に関する条例」を制定している。公民連携の先進地である大東市の事業手法、市民ニーズを調査研究することで本市の参考とするため、視察研修を行うものである。

・所感

公共施設を維持・管理していく手法として委託事業と指定管理が挙げられる。指定管理者には民間事業者として蓄積したノウハウがあり、その企画・アイデアを生かすことで多様化する住民ニーズに応えやすくなり、市民から従来の自治体にはないサービスを提供すること期待されるが、実際には行政の枠組みを超えたサービスの提供は難しい現状にある。しかし、大東市はPFI制度を活用して新たな市民ニーズに応えた市営住宅を建設しており、建設にあたっては行政主体ではなく住民から出されたアイデアを活用しながら、どういったものにしたいのか、どう使いたいのかを考えることで市民が求める施設が建設されていると感じた。しかしながら、全国的にPFIの手法が進まない理由として運営期間のトータルコストが割高になってしまっていることや、廃止された公共施設や使われなくなった公有財産を有効に活用させる方法を考慮する際は、廃止に至った経緯や使われなくなった理由についても十分に検証する必要がある点については研究課題であるとの意見があった。

(3) 兵庫県伊丹市議会 視察概要

**伊丹市の概要** (令和4年11月1日現在)

- ・面積 25 k m<sup>2</sup> ・人口 197,215 人 ・世帯数 83,580 世帯
- ・市制施行 昭和15年11月10日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和4年度 : 834 億円  
令和3年度 : 839 億円
- ・議員定数 28 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 720,000 円

**視察事項**

「防災チャットボットの導入について」

## ・目的

災害発生時、自治体は膨大な災害関連情報を整理、要約し、災害対策基本法に基づき高齢者や障がい者などの避難行動要支援者の安否確認を行っているが、迅速な状況把握には多くの人手が必要になる。高潮によって関西国際空港が水没した平成30年台風21号の際、伊丹市では大規模停電が発生したが市内の停電情報をリアルタイムに把握できず、職員による現地調査または市民からの通報による情報収集となったため、停電範囲や刻一刻と変わる復旧情報を把握することができなかった。災害時に市内の被害情報を市民等のユーザーからリアルタイムに収集・集約できるよう、伊丹市LINE公式アカウント「伊丹市防災」は株式会社ウェザーニューズが提供するAI防災チャットボットを活用し、伊丹市役所及び関係機関と情報共有を図るとともに、ユーザーに気象情報や避難情報をはじめとする行政情報等を提供することで、災害時に自助・共助に基づいた適切な行動を示すことができるツールとなった。当該LINEシステムの活用による防災の先進事例を参考にするため、視察研修を行うものである。

## ・所感

本市でもLINEによる情報発信は活用されており、基本メニューの中に防災に関する選択肢が組み込まれているが、当該メニューを選択しても市ホームページにリンクするのみであり、災害発生時の市内の状況や停電時の行動等、市民が真に必要としている情報を検索できる仕組みづくりが求められると感じた。本市においてもこの防災チャットボットを導入することで一定程度の市民には半自動的に必要な支援が行き届くこととなり、高齢者、障がい者などの避難行動要支援者にさらにマンパワーを注ぐことで災害対応力の拡大が期待できると考えられる。また、システムの運用にあたってはAIに様々なデータを蓄積させていく必要があるため、導入に向けた取り組みをいち早く進めるとともに、LINEの登録者を増加させる手法を考える必要がある。さらに、多様な災害情報を蓄積させることで、より有効性の高いハザードマップの作成にも応用させることができれば、将来的に発生が懸念される大規模災害の対策としても大いに期待ができると考えられる。一方、災害発生時に膨大な負荷がかかることが想定されるサーバーの管理やスムーズな通信状況を確保するための方法、AIによる判断の妥当性や責任の所在といった懸念もあるとの意見があった。